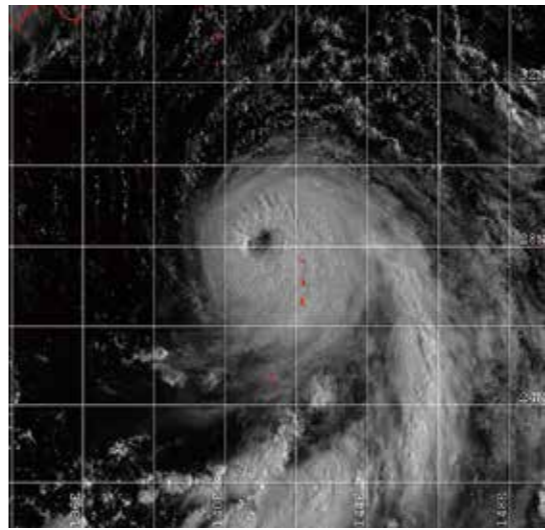


# 豪雨

地球の気温のせいなのか、年々進化する集中豪雨。台風や低気圧、前線などの複合要因がもたらすのは、想定を超える水害や土砂災害。1998年の那須水害。昨年9月の関東・東北豪雨。いざ避難しようと思ったら間に合わない！…そうならないために、災害情報に目を向けてほしい。

## 1日で年間総雨量の3割

「こ」こまでの被害になる 地球温暖化が進む今、「昔  
 せんでした。川が氾濫し、橋 に比べて豪雨が増えた」と感  
 まで流されるとは…。那須 じる人もいるのではないでし  
 水害の対応にあたった当時の ようか。気温が高くなると大  
 黒磯市職員証言です。 気中に含まれる水蒸気量が増  
 えるため、豪雨をもたらす雲



【平成10年台風4号】1998年8月25日に沖縄近海で発生し、日本列島に接近した台風。上陸はしなかったものの列島に停滞中だった前線を刺激し、関東地方を中心に記録的な豪雨をもたらした。那須水害を引き起こした後、日本列島から遠ざかり、9月7日に温帯低気圧に変わった。最低気圧955hPa。国際名・Rex(レックス)

も発生しやすくなります。気象庁のデータによると、戦前と比べて、日に100mm以上の降水量を伴う日数が増加傾向にあります。(下図)  
 那須水害で氾濫した河川の周囲では、鮮やかな光景が広がっていました。濁流で倒壊する家、橋にひっかかった大木、流される牛。那珂川水系の河川の多くが危険水位を超える中、救助・排水・土嚢積みなどの活動にあたった関係者。彼らの目には、水害の恐ろしさが焼きついたことでしょう。まちなかでは、雨水で流されたものが排水溝を塞ぎ、たちまち川のように水没。「那須塩原駅西口のロータリーが



【平成27年9月関東・東北豪雨】9日～11日にかけて発生した豪雨災害。温帯低気圧になり日本海を通過する台風18号に、太平洋側から近づいていた台風17号の湿った風が吹き込むことで、その境に線状降水帯が発生。北関東～東北地方南部にかけて24時間雨量が300mmを超える雨を伴った。市内の被害は箒根・塩原地区を中心に、建物への浸水、停電・断水、道路の破損、箒川の氾濫に伴う農業被害、土砂災害など。栃木県で初となる大雨特別警報が発令された。

腰下まで水に浸かっていた」という話も伺いました。こうした当事者の声を聞く機会が減っており、被災の記憶が風化しているといえます。教訓は後世に引き継がなければなりません。  
**リスクを常に注視する**  
 刻々と状況が変化する水害では、災害情報を的確に収集し、避難行動につなげるのが鉄則です。「この雨、いつもと違う」と感じたら、テレビ、ラジオ、インターネット、市のみるメールなどで情報を得るようにしてください。  
**身近な傾斜に要注意**  
 豪雨のもう一つの恐ろしさは、雨で地盤が緩むと土砂災害につながる危険性があること。土壌が水を多量に吸って保水力の限界を超えれば、表土と岩盤の間に水が流れ、表土が一気に滑り落ちます。少しの刺激で斜面が崩壊するので、豪雨後に地震が発生すれば大規模な土砂災害に発展するケースもあります。雨が止んでも土砂災害に警戒してください。

### みるメール

あなたの命を守るのは  
1通のメールかもしれません

皆さんの携帯電話やパソコンに防犯・防災情報や、ごみ・くらしに関する生活情報などをお届けするメール配信サービスです。



#### 【登録方法】

- ① [t-nasushiobara@sg-m.jp] あてに空メールを送信するか、QRコードを読み込む
- ② 空メール送信後、登録案内メールが届くので登録ページにアクセス
- ③ 利用規約に同意後、利用者の登録
- ④ 受信したい情報にチェックを入れ、「登録」を押して完了

#### 【配信する防災・災害情報】

- ・大雨、洪水などの気象警報・注意報
- ・土砂災害警戒情報
- ・災害による被害発生情報
- ・避難勧告、避難指示
- ・避難所開設情報
- ・国道400号交通規制情報
- ・停電情報 など

▶お問い合わせ ☎シティプロモーション課 ☎0287(62)7529

【気象注意報】  
注意喚起のために発表する予報

【気象警報】  
重大な災害が起こるおそれがある場合に発表（大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮、波浪、洪水）

【特別警報】  
重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合に発表。甚大な災害・被害の発生が想定される場合に適用される（大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮、波浪、大津波、噴火）

【避難準備情報】  
主に避難行動要支援者（障害者、高齢者、子どもなど）の早期避難を目的で発令

【避難指示・避難勧告】  
被害が発生するおそれがある場合に住民に対して避難を呼びかけるもの。指示・勧告の順に緊急度が高い。

### 気象庁発表

### 自治体発表



日降水量100mm以上の月別日数の長期変化傾向(気象庁)  
8月を除き、全体的に増加傾向にある。特に9月が顕著。

【平成10年・那須水害】8月26日～31日にかけて栃木県北部から福島県南部を襲った豪雨災害。那須町で総雨量1,254mmを記録し、余笹川やその支流などが氾濫した。那須町では6日間で年間降水量の6割が降った計算になる。全体で死者22人、行方不明者2人、負傷者55人、住家の全・半壊・一部破損506棟、床上浸水3,328棟、床下浸水11,518棟の被害。国の激甚災害に指定。写真は県道大田原芦野線の寺子橋付近の様子。道路は消失し、電柱は折れ曲がり、多くの家屋が流されたり浸水したりした。

